

2026

園だより



ArteKodomotoKi



社会福祉法人 種の会
幼保連携型認定こども園
アルテ子どもと木幼保園
〒164-0001 中野区中野1-59-5
Tel 03-3365-0602



ホームページ



Instagram

お知らせ

- 給食の食材発注数管理のため、夏休みの予定（7月～9月）を電子連絡帳にて担任にお知らせください。1号認定児は8月1日から31日までは夏休みとなりますので登園する予定がある日がありましたら、電子連絡帳にてお知らせください。（※誕生会などへの行事参加は可能です。）
- 雨天時にアルテの自転車駐輪場に傘を設置しています。雨に濡れないよう園舎までご利用下さい。みなさんが使えるよう、使用後はもとの場所に戻すようご協力をお願いします。
- 水遊び（全クラス）・プール遊び（2歳～5歳）が始まります。詳細をメールしましたので、よく読んで忘れ物のないようお願い致します。
- 1日（水）にプール開きを行います。プール遊び実施期間中の木曜日はコスモスポーツクラブの梶原先生が指導します。
- 幼児クラス（3～5歳クラス）は水泳帽子を着用します。自分で髪の毛を中にしまえるよう、髪の毛の長いお子さんは必ずご家庭から結んで登園して下さい。髪ゴムは飾りのないシンプルなものでお願いします。

July 7 2026						
sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
			1 プール開き	2 運動あそび (プール)	3 園庭開放ランチ	4
5	6 音楽あそび 発育測定	7 七夕	8	9 運動あそび (プール) 地域サーキット	10	11
12	13 音楽あそび	14 園見学会	15	16 運動あそび (プール)	17	18
19	20 海の日	21 音楽あそび 避難訓練	22	23 運動あそび (プール)	24 誕生会	25
26	27 音楽あそび	28	29	30 運動あそび (プール)	31	

※園庭開放ランチ、地域サーキット、園見学会は地域にお住まいのご家族への子育て支援として開催しています。

※今月の園だよりのテーマ：この時期ならではのエピソード



ファミリーデーで皆さんが植えて下さった花が、色とりどりに咲き華やかです。花を摘んで食卓に飾り、給食に彩を添えています。乳児クラスでは、プランターをお部屋から見える所に置き、水やりや園庭遊びで植栽に親しんでいます。植物には虫もやってきて、子ども達を楽しませてくれています。台風などの自然災害も多い日本ですが、緑が多く自然の豊かさに恵まれた国です。自然は子ども達に美しさや不思議さを与えてくれます。その感性が、新しい物との出会いや驚き、もっと知りたいという探求心を生み出しているようです。自然はコントロールできませんが、たくさんの生き物がつながって、多くの「いのち」と共に生きていることを感じる心を大切にしていきたいと思っています。

園長 山田寿江

「遊び」は「学び」～学び方そのものを学ぶ～

社会が急激に変化する現代、自分で考え行動する力が求められています。その基盤は「やってみたい！」という意欲です。幼児期の「学び」の特徴は、環境を通した「遊び」にあります。試したり工夫したり、友達と関わり思いを伝え合い時にぶつかりながら折り合うといった経験の中で「学びの芽」が育ちます。少子化や情報化により直接体験が減っている今だからこそ、安心して遊べる環境やじっくり関わる時間、仲間との関係づくりが重要です。幼児期は、遊びを通して“学び方そのもの”を学んでいるのです。一方、小学校では教科中心の「学習」となり、知識や技能と共に自分で考える力や粘り強く取り組む力が重視されます。幼児期から小学校への接続「架け橋プログラム」が課題となる中、今年度も中野区保幼小連絡協議会が開催され小学校の授業も参観させていただきました。【幼児期の「学びの芽」と小学校以降の「学びに向かう力」のつながりを考える】をテーマに事例討議し、幼児期の「知りたい」「やりたい」の経験が「学び」となり、小学校の「学習」へとつながっていることを確認しました。

人と人とのあったか～いつながり

土曜保育での異年齢の関わりで、年長児を慕う姿がみられます。何度も「〇〇お姉ちゃん、だ～い好き！」と繰り返す声がとても微笑ましく、頼られるお姉さんも誇らしげでした。少子化で子ども同士が関わることも少なくなりましたが、先日は東京コミュニティスクールの3～4年生が玩具研究のために来園し、幼児と関わり遊んでくれました。また、プレママおしゃべり会を開催、妊婦さんとティータイムでお喋りを楽しみ赤ちゃんとふれあいました。初産では、出産まで赤ちゃんを抱っこする機会がない方が多くおられます。ぬくもりを肌で感じ、我が子を抱く日を心待ちにされていました。園では子どもと保育者だけでなく、子ども同士、大人同士、様々な関係が広がって人の輪をつないでいます。子どもを真ん中に、地域の人々が集い、支え合う関係性を築いていきたいと思っています。



美しい環境

主幹教諭：中村

1F ホールから2歳児クラスさんの、元気な声が聞こえてきたので、様子をみにいきました。しかし…気になったのは誰もいない部屋で、担任の先生が活動の準備をしている様子でした。部屋にはいるなり、半分に切ったキャベツに絵の具と画用紙、ちぎったキャベツに動物フィギュアと小さな棚。ライトテーブルの上に、カラフル積み木とちぎったキャベツ。給食では使えないキャベツをたくさんもらい、活動に取り入れたようです。

部屋に戻ってきた子ども達は、目を輝かせながらどれで遊ぼうか、部屋の中をみて周っていました。

3歳のお部屋では、担任が持ってきた玉ねぎを水につけていました。ライトテーブルに置き、子どもがいつでもみられるようにすると、触ってみたり匂いを嗅いでみたりと、根っこが伸びてくる以外の事にも興味を持ち始めました。

以前、イタリアから来ていたアトリエリスタのエレオノーラさんから、環境の大切について学んだ先生たちは、活動する際の環境や遊んだ様子を展示する方法など、試行錯誤しながら整えています。美しい物を見たときに「うわー」と思う気持ちは、子どもも同じです。遊び込みそして広がっていける環境で、たくさんの発見ができればと思います。



りんごの気持ち

主幹教諭：黒木

屋上園庭の姫りんごが半分色づいていました。上の方は赤く、陽の当たらない下の方は緑色です。どうして赤くなったのかを子ども達と話してみました。「う〜ん何でかな〜りんごだからだよ」

植物は生きているから気持ちがあるのかもしれないよと伝えると、5歳ナノ組さんが集まってきて「私はね、疲れた時に赤くなるよ」「ぼくは熟が出た時に赤くなる」「私は恥ずかしい時に赤くなる」と言いました。

ブルーベリーをスケッチしていた4歳ナノ組のAさんが「やっぱり、りんごを描きたい」と言いました。「下からだと見にくいけど、大丈夫？」と聞くと「大丈夫、下から見たらお尻に見えるよ！お尻が見えているから恥ずかしくて赤くなるんだね」と言いました。確かに下から見たらお尻みたくに見えます。「それに裸んぼうだしね〜」と恥ずかしそうに笑いました。Aさんは5歳さんの発言を聞いてりんごの気持ちを考え、恥ずかしい理由を見つけたのでしょうか。ファンタジーの世界を生きる4歳クラスならではの楽しい発見でした。

表紙の絵

5歳ナノ組のみれいさんが描きました。絵が好きなみれいさんはいつも夢中で描きます。保育者の問いかけも耳に入らないほどの集中力で細かいところまで丁寧に描いていました。



O Ato

雨上がりのテラスで

午前中に雨が降った日、子ども達がお昼寝から目覚めると雨が止み、テラスには雨水がたまっていました。窓を開けると嬉しそうにハイハイで来たAくんですが、テラスが濡れていることに気付いたのかピタッと止まって様子を伺います。保育者がハケで雨水をたたいてみると、水がはじいて音が聞こえてきました。Aくんは保育者と目が合うと安心したのか、そっとハケに手を伸ばします。ハケを振ったり触ったりしていくうちに面白くなってきたのか、躊躇なくテラスに出て雨水の上をハイハイで進んでいきました。いつもとは違うテラスの感触や雨水の冷たさを感じたら、Aくんの表情は生き生きとしていきました。そんなAくんの姿を見ていたBさんも、興味が湧いてきたのか自ら近くまで見に来ました。Bさんはためらうことなくテラスに出ると、石が入っている容器を見つけました。石を出し入れすることを繰り返し、聞こえてくる音や動きに集中しているようです。今度は雨水の入ったバケツに手を伸ばしてバケツを倒し、石を入れたりハケでバケツの中を触ったりしました。濡れている感覚を味わいながら色々なモノと関わり、Bさんなりに試して楽しんでいるようでした。



風って気持ちいい！

気温と湿度が高くなってきて、室内でも暑さを感じるようになってきました。お部屋にある空気清浄機につかまり立ちをすることが好きなDさん。何度かつかまり立ちをしているうちに空気清浄機から風が出てくることに気が付き、顔をのぞかせたり手を伸ばしたりして風を感じています。顔に風があたると「あー」と声をだし、気持ちよさそうに涼む様子が見られます。そんなDさんの姿から、すり這いやお座りで遊んでいる子ども達とも風を感じてみようとうちわを出してみました。保育者がうちわであおぐと不思議そうに動きを見つめ、勢いよく風が吹いてくると驚いたように笑顔を浮かべます。鏡の前まで来たCくんは鏡に映る自分を見ながら、髪の毛が風でなびく様子が面白かったのか、「あっ、あっ」と嬉しそうに笑っていました。これからさらに暑くなっていきますが、子ども達と色々な活動を通して涼しさを感じて過ごしていきたいです。

1 Ato

雨の日の子ども達の姿

本格的に梅雨に入り、外に行きたいという子どもの思いを受け止めながら、雨の日でも楽しく活動ができるように日々考えています。

この日は雨が降っていたため、予定していたお散歩に行くことができませんでした。子ども達はテラスの方を見てMくんが「雨だ」それに対してRくん「ぽつぽつだね」と会話をする姿がありました。絵本を何度も読んでいたため、ぽつぽつという言葉が雨と結びついて自然と出てきたのではないかと思います。子ども達はいつもと違うテラスに興味津々でした。そして次の日は雨が上がり涼しかったため、散歩に行けました。葉っぱに雨が当たっていることを見つけたSくん。指先で少しずつ触ったり、ゆすったりして雨のしずくを手のひらで感じていました。

子ども達にとっては天気の変化も遊びの一つになっていることを感じた瞬間でした。子ども達の感じたことや言葉を拾いながら、豊かな表現ができるよう対話を大切にしながら保育をしていきたいと思います。



ほくもわたしもやってみみたい

1歳児クラスでは、ファミリーデー以降も“♪忍者の宅急便”という歌に合わせて踊ることが好きで、雨の日は子ども達の気分に合わせて踊っています。踊り始めた当初より、自分の頭に布をのせられるようになってきたり、友達がのせられなくて困っているとのせてあげたりする姿もあります。

「布ちょーだーい」と保育者が呼びかけると、Sさんは丁寧に布を広げて畳み始めます。その姿に刺激されて、MさんとNくんも畳み始めました。私たち保育者も畳み始めるとは思わず、撮影しました。時間はかかるものの、布の角を合わせようとしたり、手でアイロンをかけようとしたりする姿があります。

4月と比べると自分でやりたい、やってみみたいという気持ちが芽生え、友達の姿に刺激を受けてやってみみたいと頑張る姿がたくさん見られるようになりました。自分でやるという気持ちを受け止めながら、援助して自分でできたという達成感や喜びを感じられるよう、多くの経験を子ども達と共にしていきたいと思いました。

2 Pico

台風風の音をきいて

台風が直撃した日のこと。滝のように雨が降る中をがんばって登園しました。「傘さしてきたよ」「カッパ着たの」と教えてくれます。そんな雨も風には少し落ち着き、その後は強い風が吹いていました。部屋を暗くして、プロジェクターで雨の映像を見て影遊びをしたり、テラスの窓をあけて風の強さを体感したりしました。



午後、ロール紙にお絵かきをしました。Kくんが「台風雨描いてるの」と点々を描き始めました。それを見た周りの子も「雨」「風がピューって吹くよ」と、今日のことを思い出しているようでした。Mさんははじめは点々を雨に見立てて描いていたのですが、「これは花びらなの」と途中で花に見えてきたようです。Sくんも「あおむしだよ」と、点々から始まった台風の物語は、子ども達の想像を広げていきました。言葉も増えてきて、自分の考えていることを伝えられるようになってきたからこそ、お互いの言葉に刺激を与えあって、成長していくのだなと感じました。



何か音が聞こえてくるよ

また別の雨の日。ザーザー雨の中、みんなでテラスに出てみると「ピーピーピー」と鳴き声が聞こえてきました。「何の音？」と耳に手を当てて聞いてみると「とりさんだよ」とその正体に気が付きました。「雨の中でどこにいるのかな？」という保育者の問いかけに「あっちにいるんだよ」と空を指したり、「びしょびしょになっちゃうよね」と鳥を心配したりする子も。そんな中、湿気で湿ったテラスの柱を触った手が「キューキュー」と音を鳴らしました。「あれ、鳥さんの声みたい！」と発見し、みんなが触り出します。「こっちはどんな音かな」と窓や壁も触ってみますが、柱が一番心の踊る音でした。柱を触りながら「鳥さんが中にいるんだよ」と想像を膨らませる子もいました。雨の日には雨の日にしかできない遊び、発見を楽しんでいきたいと思います。



3 Nano



雨いろいろ

スポイトを使って雨を描きました。スポイトを強く押すとたくさんの絵の具がでてきます。絵の具が小さな水たまりになっていましたが画用紙を傾けると……「雨～！」絵の具が流れて雨のような線が出来ていました。ポツポツ雨、台風の雨、しとしと雨。いろいろな雨です。友達が雨を描いている様子を見て、「まだやっていないよ～」「私もやる！」と、参加者が増えていきました。どんな雨ができるのかワクワクの時間でした。

傘でもかぶっていきましょうと～♪

今月の歌『あめふりくまのこ』の歌詞に葉っぱの傘がでできます。本物の葉っぱではないけれど、保育者が大きな葉っぱを作りました。葉っぱは防水仕様です。霧雨の降る日に葉っぱの傘を使って遊びました。屋上に行くと「これ、私が植えたの」ファミリーデーで家族と一緒に植えた花を見つけると、嬉しそうに話していました。葉っぱの傘は2つしかないので、友達と一緒に傘に入る姿もありました。「濡れちゃうよ」優しい声が聞こえてきました。友達に葉っぱの傘を向けてあげていたのです。素敵ですね。雨はすぐにやんだので、葉っぱの傘の出番は次の雨の日までおあずけとなりました。晴れる方が嬉しいけれど、たまには雨も良いですね。



仕上げは雨！

コーヒーフィルターに水性ペンで模様を描きました。雨の日の特別な絵描きです。描き終わるとテラスに持って行きました。最後の仕上げは雨にお任せします。しばらくしてテラスに行くときにじみ絵が完成していました。雨で湿っていたコーヒーフィルターは大きな白い紙の上に並べて乾かしました。すると、今度は白い紙に模様がうつっていたのです。子ども達と雨のコラボレーションで素敵な作品が完成しました。



Nano4

湿ってるって何？

朝のサークルタイムの時に一つのテーマについて話し合いをしています。梅雨に入り、天気も良くなかったこともあり、子ども達同士でたくさん話し合うことが出来ました。その日は図鑑で見ていたミミズのことについて話し合いました。「ミミズってどんな生き物なのかな？」と尋ねると、「長いよ！」「土に潜るよ！」「触るとネバネバするんだ」と次から次へと意見が出ました。「ミミズの住んでいる場所は？」という話になるとI君が「湿った所にいるんだよ！」と言いました。すると「湿ったって何？」と質問が。「湿るって水のある所だよ」「じゃあ、海も？」「川もだ！」「水道も湿ってるの？」と



Aくんが「湿ってるってジメジメしてるってママがいった！」と言いました。Iくんが「ジメジメってなに？」と聞くとAくんも「うーと……なんだろ」と「ジメジメしてるカタツムリも出てくるって先生が言ってたよ！」とその後は子ども達で絵本コーナーに行って、様々な図鑑を読んで自分達で調べている様子でした。梅雨の時期に入り、天気も悪く外に出ることが少ないこの頃ですが、この時期だからこそ、室内でゆったり子ども達同士で考え、言葉を交わし、自分達への気付きへと繋げていくのだなと感じました。

雨上がりの園庭で

ある雨上がりの日、「雨が止んだから何かいつもとは違う虫とかがいるかもしれないね」と屋上園庭に上がることにしました。屋上に登る階段のところで「いつも、屋上はダンゴムシとミミズがいるんだよ」とTくん。「雨が降ったからカタツムリがいるかもしれないね」とMさん。雨が降った後の屋上園庭にどんな生き物がいるのか期待感をもって屋上に行きました。

色々な所を調べてみても、カタツムリやダンゴムシ、ミミズもおらず少しがっかりした様子。5歳さんが育てている稲の方を見ていた子ども達。

「水の中でなにか動いた！！」子どもが稲の中を覗き込みながら言いました。「これなに？」「虫？」「動いてる！」と興味津々。「これはボウフラっていう蚊の赤ちゃんかもしれない」と保育者が口にすると興味深そうにボウフラをじっと見つめました。「これは虫なのかな？」「触ってみたい」「触ったらかゆくなるんじゃない？」と自分達で考えていました。



5 Nano

雨ってどんなカタチだろう？

台風がやってきた！室内にも大きな雨の音が聞こえてきます。

これまで道路の標識などの“カタチ”に興味を示す姿があり、朝の会でも話題に取り上げてきました。雨というカタチのないものをどう捉えるだろうという視点から、屋上園庭に雨のカタチを見に行くことにしました。傘をさして雨が当たる様子を楽しみながら、「つぶつぶ」「タネみたい」と呟いたIさん。時間が経つにつれてたくさんのタネ模様が広がっていきます。タネ模様の傘になりました。

地面に落ちた雨は……？

地面を見てみると、広がる水がキラキラして見えたことで「海みたい」「ピチャピチャって音がする」と言いながら楽しそうに足踏みを繰り返していました。



地面に打たれていく雨の弾みは「泡みたい」

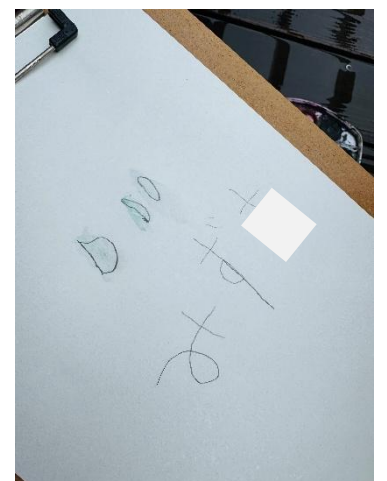
「あ、あっちの赤い壁、雨の跡が付いてる！」
じっくり見てみると壁にも模様が出来ています。
傘に出来た模様とは違う模様です。

「線みたい」

丸いタネ模様、長い線の模様と、同じ雨でも違いがあることを感じた時間でした。

描いた絵をみたAさんが

「〇〇くんって名前にも“みず”が入ってるね」と友達の名前の中に“同じ言葉”があることに気付き、他の友達や先生の名前の中にも“みず や あめ”の音がないかを探して遊びました。



Atelier



自由ってなんだろう？

道具や素材を増やして充実したはずの2階の制作コーナーですが、子ども達と一緒に遊んでみると、いろんなことが気になってきました。

そのうちのひとつが、折り紙の使い方です。折って遊ぶというよりも、くるくる丸めてセロハンテープで留めるのが面白い様子。また、折り紙の裏にお絵描きをしている子も多数。

色とりどりの折り紙は見ても触っても心がときめくものですが、そのよさが活かされた遊び方になっているのだろうかという疑問に思っただけです。

「スケッチブックがあるのにどうして折り紙に描いているの？」と、それとなく聞いてみました。すると「あんまりうまくかけないから」と返答がありました。



その言葉から、スケッチブックを持つことは嬉しいけれど、いざ描こうとすると身構えてしまうという気持ちが伝わりました。さらっと落書きをしたい時もあるかもしれないけれど、折り紙の裏でなくてもいいはず。クシャクシャになってごみ箱に捨てられた折り紙を見ると、自由に使えるってそういうことではないのでは？とモヤモヤが募ってきました。制作コーナーの環境を改めて見てみると保育者の関わりも含めて、子ども達がじっくり遊べていないようにも感じます。

幼児クラスの保育者と話し合っていると、それぞれが現状に疑問や悩みを抱えており、いったん素材を減らして様子を見ることになりました。

理想的な環境とは、ものが多ければよいというものではなく、子どもの様子を見ながら足したり引いたりして変化させていくことだと思うのですが、「自由ってなんだろう？」と考えるほどに頭がこんがらがってきます。まずはできることをやってみようと、寄贈していただいた廃品の用紙を折り紙と同じ15センチ角に切ったり、円形に型抜きしたりして自由に遊べる素材として子ども達と遊んでいます。折り紙、落書きはもちろん、糊を使って貼り絵のようにするもよし。棚に飾っておけば、友達が作ったものに刺激を受けてやってみようとする子も現れます。子どもの遊ぶ様子やその時と興味や関心に合わせて、制作コーナーが次の活動へとつながっていく場になるように環境を見直していきたいと思えます。

ほげんだより

シャワーの始まる前に、年齢に合わせて「プライベートゾーン」の話をしました。5歳クラスでは、絵本を使って安心・安全に替える方法を考え、からだに触れる時のマナーを確認しました。



この時期だからこそ「知りたい」気持ち

幼児期になると、自分のからだへの興味から「からだの作りの違い」や「どうやって産まれたか」など、からだの仕組みにまつわる疑問を口にするのが多くなります。思いがけないタイミングでこうした質問が飛んでくると、ドキッとしたり答えに困ったりすることがあるかもしれません。

ご家庭でのヒント

- 「いいことに気づいたね、どうしてそう思ったの?」と聞いてみると、何をどこまで答えたらいいか見えてくることがあります。どう伝えるか迷うときは、誤魔化さずに「うまく説明できないから調べてみる」と伝え、後日改めて向き合う時間を作ることです。「ちゃんと聞いてもらえた」「聞いていいんだ」という安心にもつながります。極端に驚いたり、慌てたりすると「聞いてはいけないのだな」と感じさせてしまうことがあります。
- 「まだ早い」「そんなこと聞くものじゃない」と遮らずに声を受け止めましょう。何でも安心して話せる関係を積み重ねることが、困ったときに相談できる相手となる土台ともなります。
- おとなになってもずっと大切にしたいこと
からだのことだけでなく、周りの人とどうやって気持ちよく過ごすことができるか、生活の中でいろんな気持ちを経験し、やりとりを繰り返すことは、子どもの健康と安全を守る力にもつながります。

ご家庭で、対話のヒントになりそうな絵本をご紹介します。「あなたならどう思う?」「どうする?」といったように、気持ちを聞いて会話につなげてみてください。ご質問や、お気づきの点がありましたら、いつでもお気軽にお声がけください。



発育測定 7月6日(月)
0歳児健診 7月8日(水)
15日(水)

保健指導予定：熱中症について



0歳クラスで、パーテーションに登り乗り越えそうになる姿が多くみられるようになりました。つかまり立ちが出来ると、壁状の所でも登ることが出来ます。自分の身長程度の高さは越えられます。危険を伴う動きは制止しつつ、怪我をしないよう見守っていきます。少しずつ挑戦を重ねる経験が、大けがを防ぐ力に繋がります。

危ないからと止めるだけではなく、怪我をしにくいからだの使い方を経験できるように遊びを工夫していきたいと思ひます。



食育だより

We want to cook delicious food



水遊びが楽しい季節になりました。本格的な暑さに備えて栄養と睡眠をしっかりとり体力を蓄えましょう。給食でも旬の夏野菜を多く使い、栄養バランスの整った献立を提供し子ども達の健康面をサポートしていきます。

アルテの畑 5歳ナノ組

今年度もアルテの畑ではたくさんの植物が元気いっぱい育っています。6月は5歳ナノ組さんがずずじいと一緒にじゃがいもとにんじんを収穫し、採れたてを給食室でふかして味見しました。プランターでもすくすくと夏野菜が成長しています。立派に育ったきゅうりとなす。ぴかぴかつやつやでおいしそう。せっかくなのできゅうりは採れたてをぼきぼき折ってそのままの味を楽しみました。「なんか苦い」「よく噛んだら甘くなるよ」「塩つけたらいいんじゃない」など様々な意見がでました。なすはお味噌汁に入れてみんなで食べました。



旬さやいんげん 2歳ピコ組

旬のさやいんげんを2歳ピコ組さんに紹介しました。「お豆出すの?」と前回のそら豆のイメージでやってきた子ども達。いんげんはさやごと食べられるので、さやをむかないことを伝えると「むきたい」と少し残念そうな姿も。ポキッといんげんを折ると香りが強まり、「においかわったね」「くさいにおい」。さやを割って中の小さな豆が出てくると、「お豆小さいね」と両手で優しく持ってじっくりと見る様子もありました。

翌日、いんげんのおかか和えを子ども達の目の前で仕上げお皿によそいました。「昨日やったよね」と得意げな表情。大きな口でぱくりと食べて「おいしい」という子や、さやを割って中の豆探しを始める子、野菜が苦手な子も「お料理してにおい」が変わったよ。どんな味かな」と声をかけると小さい一口を味見するなどそれぞれの発見がありました。



七夕

七夕にはそうめんがよく食べられます。

そうめんは織姫が得意だとされる機織りの白い糸に似ていることから七夕の日に食べるようになったそうです。また、七夕の日にはもともと索餅(さくべい)という小麦と米粉を混ぜて作られる中国の唐から来た菓子が食べられていました。この索餅がそうめんにも形を変えたともいわれています。

「子どもに伝える 行事の由来と行事食」より
給食では、お星さまいっぱいランチ、おやつを提供します。そうめんサラダもお楽しみに。

7月の行事食

7日(火)七夕

<昼食>七夕にんじんピラフ、かぼちゃのシチュー、そうめんサラダ、すいか

<おやつ>七夕ゼリー、ほしたべよ(せんべい)

10日(金)絵本メニュー(おやつ)

<おやつ>白くまちゃんのホットケーキ
ホットケーキを一枚ずつ手焼きし、重ねることで絵本の世界を表現し提供予定です。

24日(金)お誕生日会

<昼食>ロールパン、ふんわりハンバーグ、ちくわの和風サラダ、

トマトのコンソメスープ、すいか

<おやつ>お誕生日ケーキ(パイナップルケーキ)

7月の旬の食材

オクラ、トマト、かぼちゃ、キャベツ、きゅうり、枝豆、ごぼう、ズッキーニ、さやいんげん、とうがん、なす、ピーマン、じゃがいも、レタス、メロン、すいか、アジ、カツオ、カレー

